

県当局 2021組織定数検討本格化へ 現場からも切実な人員要求を

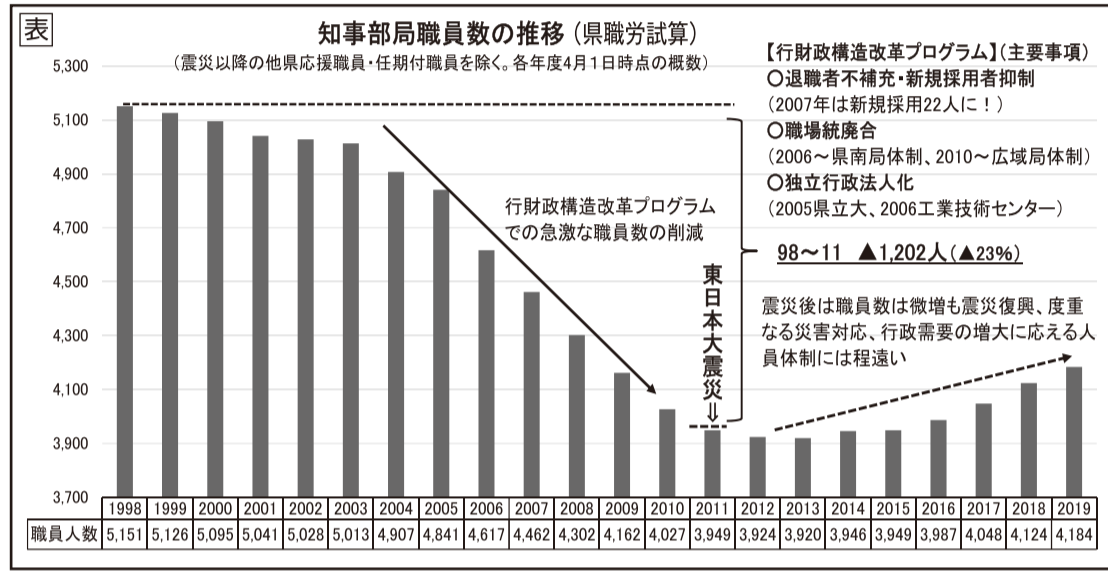


所属長への申し入れと並行して課題を県職労へ

現在、当局は各部署に対し来年度組織定数の要望調査をしており、各部署での来年度組織定数の検討が佳境を迎えている。県職労は7月8日に人員確保要求書を提出し、取り組みを本格化しているが、各所属での来年度定数要求に現場の組合員の意見を反映させる取り組みが重要となる。併せて、これまでの職員数の実態も振り返り、改めて人員増の必要性を共有しよう。

【**度重なる人員削減の警鐘**】
表は、1998年度以降の各年度の4月1日時点での知事部局の職員数の推移だ（数値は現在公表されておらず、過去の当局資料等をもとに県職労で試算。東日本大震災以降の他県応援職員・任期付職員を除く）。2000年代初頭の行財政構造改革プログラムによる退職者不補充・新規採用者の抑制、更には職場統廃合の結果、十数年で1,200人の削減を強いられた。その中で東日本大震災となり、当時の県議会でも職員数の削減により迅速な震災対応ができなかつ

た等の教訓が浮き彫りとなった。2009年の水準にとどまっている。震災復興によるハード事業はまだ残されているほか、整備した施設の維持管理など業務への対応も必要であること、災害等に対応した人員配置や、これまでの人員削減の影響で行政需要の増大にさらされ



【**人員増の必要性を共有し、職場の総意を要求**】
6月17日、白水総務部長(総務省出身)との着任交渉において、総務部長は「職員の採用抑制を行ってきた時期もあり、バランスの取れた人員配置に向け可

【**新採用職員への手厚いサポートで安心感を**】
今年度も間もなく半年を迎える。各所属で配属された新採用職員も仕事や職場の雰囲気を感じ始めた頃。先輩組合員や若手組合員からの関わりと新採用職員へのサポートが取り組みへの重要なカギとなる。

【**仕事・生活のサポート**】
新採用職員も仕事や生活面で悩むことも出てくる。その際に、新採用職員の安心感を持つる先輩組合員の手厚いサポートが加入促進に当たって大切なポイントといえる。サポートと併せて「県職労に加入しよう」と声掛けるタイミングも

【**新採用職員への安心感を**】
新採用職員は日々の仕事や職場に懸命に働こうとしていて、新採用職員への加入の声掛けには新採用職員が「安心感」を実感できる取り組みをセットで行うことが効果的。新採用職員をサポートしながら、県職労の取り組みを身近に感じてください、加入に結び付けていこう。

【**新採用職員の安心感を**】
新採用職員は日々の仕事や職場に懸命に働こうとしていて、新採用職員への加入の声掛けには新採用職員が「安心感」を実感できる取り組みをセットで行うことが効果的。新採用職員をサポートしながら、県職労の取り組みを身近に感じてください、加入に結び付けていこう。

【**体制強化は喫緊の課題**】
各保健所では厳しい職場実態が続く。新型コロナウイルス感染症対応に追われている保健所に対し、実状を確認する機会を得た。保健所では濃厚接触者をはじめPCR検査対象者へ

【**体制強化は喫緊の課題**】
保健所職場
新型コロナウイルスが長期化するなか、保健師や臨床検査を担う専門職員などの体制強化は不可欠だ。喫緊課題として当局への体制強化の要求の取り組みを進めていく。

【**体制強化は喫緊の課題**】
保健所職場
新型コロナウイルスが長期化するなか、保健師や臨床検査を担う専門職員などの体制強化は不可欠だ。喫緊課題として当局への体制強化の要求の取り組みを進めていく。

【**体制強化は喫緊の課題**】
保健所職場
新型コロナウイルスが長期化するなか、保健師や臨床検査を担う専門職員などの体制強化は不可欠だ。喫緊課題として当局への体制強化の要求の取り組みを進めていく。

【**体制強化は喫緊の課題**】
保健所職場
新型コロナウイルスが長期化するなか、保健師や臨床検査を担う専門職員などの体制強化は不可欠だ。喫緊課題として当局への体制強化の要求の取り組みを進めていく。

月2回刊=1563号
2020年8月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸九番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

【**体制強化は喫緊の課題**】
保健所職場
新型コロナウイルスが長期化するなか、保健師や臨床検査を担う専門職員などの体制強化は不可欠だ。喫緊課題として当局への体制強化の要求の取り組みを進めていく。

【**体制強化は喫緊の課題**】
保健所職場
新型コロナウイルスが長期化するなか、保健師や臨床検査を担う専門職員などの体制強化は不可欠だ。喫緊課題として当局への体制強化の要求の取り組みを進めていく。

【**体制強化は喫緊の課題**】
保健所職場
新型コロナウイルスが長期化するなか、保健師や臨床検査を担う専門職員などの体制強化は不可欠だ。喫緊課題として当局への体制強化の要求の取り組みを進めていく。

【**体制強化は喫緊の課題**】
保健所職場
新型コロナウイルスが長期化するなか、保健師や臨床検査を担う専門職員などの体制強化は不可欠だ。喫緊課題として当局への体制強化の要求の取り組みを進めていく。

【**体制強化は喫緊の課題**】
保健所職場
新型コロナウイルスが長期化するなか、保健師や臨床検査を担う専門職員などの体制強化は不可欠だ。喫緊課題として当局への体制強化の要求の取り組みを進めていく。

今年も厳しい暑さとなった。コロナ禍でマスクをしながら日々生活しているため熱中症には例年以上に気を遣う日々を過ごしたのでは。体調管理のためにも少しの不調でも休むことが大事だ

南部園芸・二戸土木で意見交換会

評協議会 各職域の課題改善に向けた取り組み始まる

南部園芸分会

(8月24日開催)

気仙支部・南部園芸研究室分会を皮切りに試験研究課題の意見交換をスタートした。農業研究部門における主な継続課題は、①県単研究費の拡充、②研究員の体制拡充、③業務実態を踏まえた会計年度任用職員の配置、④施設整備の更新等となっている。

南部園芸研究室分会の意見交換では、「予算措置が外部研究資金がメインとなっており、県単研究費は減額となっている。各農業改良普及センターや各地域から必要とされる研究テーマが十分行いきれない状況」、「外部研究資金の研究はテーマが制約されており、現場の実情と合わない場合が多い」、「県単の施設修繕の経費が措置されず運営が厳しくなっている」とし、予算措置の在り方の改善を訴える声が上がった。さらに、「会計年度任用職員の勤務時間が削減され、必要時に作業を依頼できず、職員自らハウス等の管理や修繕を担っている。職員負担も大きい」とし、会計年度任用職員の勤務時間の改善を強く求める意見が挙げられた。



▲南部園芸研究室分会の意見交換

二戸土木センター分会

(8月27日開催)

また、南部園芸研究室の予算や施設管理は農業研究センター本所が担っており、現地での消耗品等の購入や廃棄物処理に難儀しており、改善をとの意見も。現在、農林水産部では来年度における研究機関の人員・研究費の在り方について検討を本格化させている。切実な現場の意見を踏まえた研究体制を構築できるよう、今後開催の意見交換会で得られた課題を集約し、農業研究部門の独自要求書に取りまとめ、要求していく。

土木関係職員協議会は8月27日、二戸支部・二戸土木センター分会において意見交換会を実施した。昨年度からの継続課題は、①人員課題(技術・建築職等の確保、人材育成、技術継承)、②諸手当課題(管理担当職員への被服貸与、県営住宅管理業務の特殊勤務手当創設、建築職の資格取得に係る学費負担軽減)、

③会計年度任用職員制度課題、などが挙げられる。昨年度の交渉では長期的視点での人員確保、職場課題において一歩でも二歩でも改善に取り組みとした姿勢が示されたものの、課題は山積したまま。冒頭、昨年の交渉到達点と分会基礎調査結果を本部佐々木書記長から提起。二戸土木センターの職場実態が話された。特に会計年度任用職員の課題に触れる。

【参加者の声】臨時職員(事務補助)が、会計年度任用職員の切り替わりに半分の4人へと減らされた。用地・建築・管理で2人、土木技術企画・道路環境・道路整備・河川砂防チームで2人の短時間勤務に。その結果として、事務補助の一部が正規職員の業務に加算され、かつ席も遠く頼みづらいなど、業務に影響も。運転技士に関しては、時間外勤務となっても手当が支給できない弊害もある。最も著しいのが県民サービスの低下である。そもそも少ない正規職員で、現場業務も多い中、電話や来客



▲二戸土木センター分会の意見交換

組織の拡大・分会活動の活性化を

釜石支部が定期大会開催

8月19日、釜石支部定期大会を開催した。

小原支部長から、「コロナ対策業務で月100時間を超える超過勤務となつて



▲釜石支部・定期大会の様子

の応援なくして感染対策も成り立たっていないのが実情である。このことを私たちが受け止め、人員・労働条件改善を求めていくことが重要」とあいさつ。その後、今年度の新採用職員全員加入まであと一人までできていること、会計年度任用職員の新加入も報告し、引き続き過年度採用者の組織拡大の取り

【お詫びと訂正】8月15日号機関紙2面「宮古支部体制確立」の記事で、宮古支部執行委員の名前が「東条直貴」となっておりましたが正しくは「東城直貴」さんでした。お詫びし訂正します。

野中やすし

議会報告

初当選から1年 支援とご指導に感謝

皆さんにご支援をいただき、盛岡市議会議員となりました。これからの一年とさせていただきます。これまでのご支援とご指導に心から感謝申し上げます。さて、新型コロナウイルス感染症は、ついに本県でも7月29日に初めて感染者が確認され、現在19人(8月27日現在)に拡大しています。

感染者の中には感染経路が「不明」の方も出てきています。また、本県でも十歳未満の子どもに感染が確認されました。家族間の感染予防対策は、クラスター感染が発生しやすいことから、今後の重要なポイントであると考えます。



保護者が新型コロナウイルスに感染し入院治療が必要となった場合、親せき等の一時的な引き取り先がない子どもたちのお世話をどうするかという問題が惹起されます。国からの指導通知によれば、このような場合、児童相談所で一時的に保護することとされています。しかし、現在の児童相談

盛岡市には、児童相談所が設置されていないため、県の児童相談所に頼らざるを得ないのが実情です。県内で、陸前高田市が市社会福祉協議会の運営する簡易宿泊所で一時的に預かる制度をスタートさせています。

私から、市議会9月定例会の一般質問で盛岡市における対応について質す予定です。

ある。東日本大震災復旧への対応と同様、緊急時の対応が後手に回っている。政府が小さな自治体へと追求した結果、今は他部局からの応援なくして感染対策も成り立たっていないのが実情である。このことを私たちが受け止め、人員・労働条件改善を求めていくことが重要」とあいさつ。

その後、今年度の新採用職員全員加入まであと一人までできていること、会計年度任用職員の新加入も報告し、引き続き過年度採用者の組織拡大の取り

最後に、小原支部長の団結カンパローで運動前進に向けて意思統一を図った。

【お詫びと訂正】8月15日号機関紙2面「宮古支部体制確立」の記事で、宮古支部執行委員の名前が「東条直貴」となっておりませんが正しくは「東城直貴」さんでした。お詫びし訂正します。

会計年度任用職員向け共済利用のご案内です

(詳しくは支部書記局へ)

臨時・非常勤等の自治労組合員の皆さんへ

じちろう共済は臨時・非常勤等の自治労組合員の団結を応援します。

じちろうの共済 シンプルパック

終身生命共済・個人長期生命共済

自治労組合員用の “団体割引” を適用!

～医療保障+生命保障をパッケージした保障プラン～

組合員だけでなく、家族も加入できます。在職中はもちろん、退職後も継続できる共済です。

- 備えは手頃にシンプルに。入院日額が2タイプ(3,000円・5,000円)から選べる「年齢別掛金型」
- 満期金が受け取れる。医療の保障範囲が幅広い「掛金一律型」

※ご契約者が自治労組合員でなくなったとき、団体割引の適用は終了し、以降は通常の掛金額となります。

ZENROSAI NEWS 5119M019

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会 自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

全労済は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。